UNIVERSITY OF TOYAMA 富山大学

平成26年度 後学期

富山大学 オープン・クラス 受講生募集要項

県民カレッジ連携講座

オープン・クラスとは

富山大学では、
「オープン・クラス」と称して、
学生のための通常の授業を
地域の皆様に公開し、
学びの場を広く提供しています。
ぜひ本学の学生・教職員と
一緒にキャンパスライフを
ご体験ください。

富大生と一緒に学びませんか？

富山大学 地域連携推進機構 生涯学習部門

平成 26 年度後学期授業日程

キャンパス	五福キャンパス	高岡キャンパス	杉谷キャンパス
授　　業	10月２日(木)～12月24日(水) ※一部日程が異なる科目があります。「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。		
冬 季 休 業	12月25日(木)～１月５日(月)		12月25日(木)～１月４日(日)
授　　業	１月６日(火)～２月３日(火)		１月５日(月)～２月２日(月)
補講・試験	２月４日(水)～２月10日(火) ※科目によって異なる場合があります。担当教員の指示に従ってください。		２月３日(火)～２月18日(水) ※科目によって異なる場合があります。担当教員の指示に従ってください。
備　　考	＊1月16日(金)は大学入試センター試験準備のため休講とします。		
	＊11月5日(水)は月曜日の授業を行います。 ＊11月27日(木)は月曜日の授業を行います。 ＊1月13日(火)は月曜日の授業を行います。		＊11月５日(水)は月曜日の授業を行います。 ＊11月27日(木)は月曜日の授業を行います。

授　業　時　間

時限	１　限	２　限	３　限	４　限	５　限	夜１限 （6限）	夜２限 （7限）
時間	８：４５ ～ １０：１５	１０：３０ ～ １２：００	１３：００ ～ １４：３０	１４：４５ ～ １６：１５	１６：３０ ～ １８：００	１８：０５ ～ １９：３５	１９：４０ ～ ２１：１０

富山大学のオープン・クラスについて

富山大学では、本学の授業を「オープン・クラス」と称して公開し、学生とともに教室で受講していただく市民一般の方々を募集します。

これは、本学が行う大学開放活動の一環で、各学部及び教養教育（以下「学部等」という。）が開設している授業を公開し、生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、地域社会と大学との連携をますます深めようとするものです。

この機会に、ぜひ本学の学生・教職員と一緒にキャンパスライフをご体験ください。

なお、「オープン・クラス」の受講に当たっては、受講生（注１）として登録していただく必要があります。受講手続については、各キャンパスで異なりますのでご注意ください。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであるため、授業内容がご希望に沿うものであるかどうかを試聴期間中に充分ご検討されたうえで、ご登録ください。

（注１）「オープン・クラス」の受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。

富山大学地域連携推進機構　生涯学習部門

目　　次

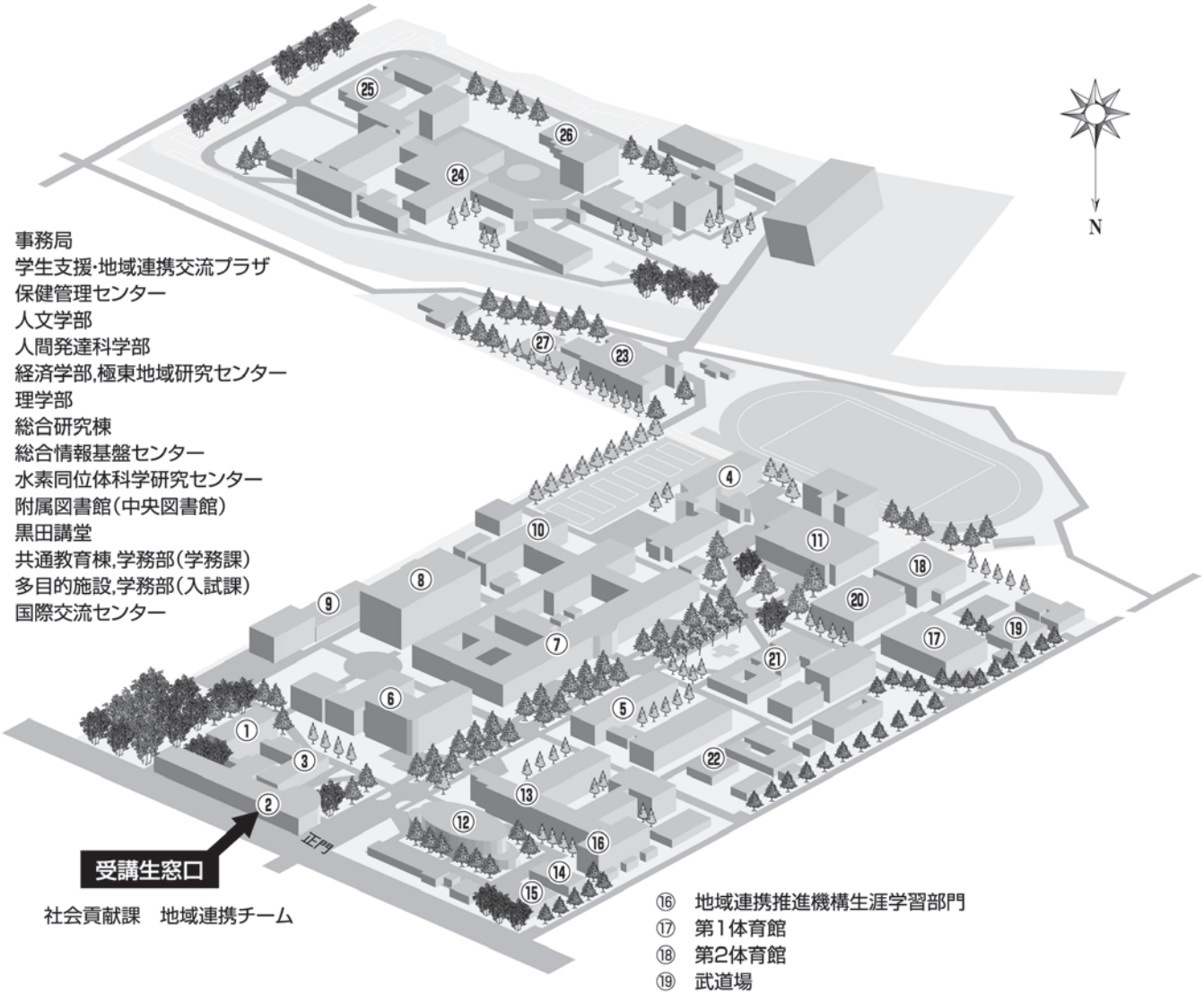
富山大学のオープン・クラスについて

五福キャンパス
Ⅰ　実施形態 …… 4
Ⅱ　受講手続 …… 5
Ⅲ　受講に際して …… 6
Ⅳ　その他 …… 7
オープン・クラス授業科目一覧
○教養教育（五福） …… 9
○専門科目
・人文学部 …… 11
・人間発達科学部 …… 14
・経済学部 …… 17
・理学部 …… 19
・工学部 …… 22

高岡キャンパス
Ⅰ　実施形態 …… 26
Ⅱ　受講手続 …… 27
Ⅲ　受講に際して …… 28
Ⅳ　その他 …… 29
オープン・クラス授業科目一覧
・芸術文化学部 …… 30

杉谷キャンパス
Ⅰ　実施形態 …… 34
Ⅱ　受講手続 …… 35
Ⅲ　受講に際して …… 36
Ⅳ　その他 …… 37
オープン・クラス授業科目一覧
○教養教育（杉谷）
○専門科目
・医学部 …… 38
受講希望調書 …… 39

五福キャンパス



① 事務局
② 学生支援･地域連携交流プラザ
③ 保健管理センター
④ 人文学部
⑤ 人間発達科学部
⑥ 経済学部,極東地域研究センター
⑦ 理学部
⑧ 総合研究棟
⑨ 総合情報基盤センター
⑩ 水素同位体科学研究センター
⑪ 附属図書館(中央図書館)
⑫ 黒田講堂
⑬ 共通教育棟,学務部(学務課)
⑭ 多目的施設,学務部(入試課)
⑮ 国際交流センター
⑯ 地域連携推進機構生涯学習部門
⑰ 第1体育館
⑱ 第2体育館
⑲ 武道場
⑳ 大学食堂
㉑ 学生会館,学務部(学生支援課,就職支援課)
㉒ 人間発達科学研究実践センター
㉓ 第3体育館
㉔ 工学部
㉕ 地域連携推進機構産学連携部門
㉖ 第2大学食堂
㉗ 学生支援施設

<五福キャンパス受講生窓口>

富山大学　社会貢献課　地域連携チーム

〒930-8555　富山市五福3190

TEL　076－445－6956　FAX　076－445－6033

通常は月曜日から金曜日の 8：30 から 17：15 まで受付けています。(祝日を除く)

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（Ｐ９～Ｐ 24 参照）に記載のとおりです。オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の四段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度のめやす

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～４年次生対象の授業）

D　高度の専門性を要する内容であり、大学卒業程度の学力を必要とするもの（大学院対象の授業）

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。

（開講期間）

3　**開講期間は、平成 26 年 10 月２日（木）～平成 27 年２月３日（火）**です。

授業日程については、あらかじめ決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の「平成 26 年度後学期授業日程」でご確認ください。

（試聴授業）

4　各授業科目の初回の授業は試聴授業として扱います。

（修了証書）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。

なお、全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により修了証書を発行いたします。発行を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

（県民カレッジの単位認定）

6　オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（１時間を１単位とし、５単位刻みで認定）、県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」を **９月５日（金）から９月24日（水）まで** に下記五福キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

富山大学　社会貢献課　地域連携チーム
〒930-8555　富山市五福3190
ＴＥＬ　076－445－6956　ＦＡＸ　076－445－6033
通常は月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受付けています。
（祝日を除く）

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試聴時に付けていただきますので、紛失されないようご注意願います。

（受講の試聴期間）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、以下のように「試聴期間」を設けます。この期間中に受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。

試聴期間：平成26年10月2日（木）～10月8日（水）

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴期間中に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、五福キャンパス受講生窓口にご提出ください。**

五福キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届
・受講料
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、五福キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,300 円（税込）

（**一部、受講料が異なる科目があります。**その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いします。複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は１部のみの発行となります。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は教員の指示や各学部等掲示板で行います。受講開始後でも、教室等について変更する可能性があります。ご注意ください。

また、携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意願います。加入手続きは、五福キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

9　キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共の交通機関等をご利用ください。また、自転車でお越しの方は、指定の駐輪場に、施錠した上で停めてください。これに違反したトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

1　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください。）

また、五福キャンパス受講生窓口においてもシラバスの閲覧ができます。

「オープン・クラス」に関する授業内容等については、学部等においてもお問い合わせできます。

○　教養教育
　　学務課　教養教育チーム　　電話 076-445-6031
○　人文学部
　　人文学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6138
○　人間発達科学部
　　人間発達科学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6258

○　経済学部

経済学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6517

○　理学部

理学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6546

○　工学部

工学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6698

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。授業開始前には、毎回各学部の掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供、及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

○教養教育

学部等名：教養教育（五福）

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、地域連携チームより郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（地域連携チーム）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	現代社会論	伊　藤　智　樹	火・5	未定＊	5	A	
2	ロシア語Ｂ（4）	ｶｻﾞｹｰｳﾞｨﾁ　ｳﾞｪﾁｪｽﾗﾌ	金・3	未定＊	3	B	
3	日本文学	金　子　幸　代	火・2	未定＊	3	A	
4	コロキアム（世界の映画）	末　岡　　宏	月・5	未定＊	20	A	
5	日本の歴史と社会	高　橋　浩　二	火・1	未定＊	3	A	
6	ロシア語Ｂ（4）	武　田　昭　文	月・2	未定＊	5	B	
7	コロキアム（競馬学）	立　川　健　治	月・5	未定＊	3	A	
8	東洋の歴史と社会	徳　永　洋　介	火・5	未定＊	5	A	
9	ラテン語Ｂ（4）	松　﨑　一　平	月・2	未定＊	制限なし	B	
10	ドイツ語Ｂ（4）	宮　内　伸　子	月・4	未定＊	3	B	・受講は、ドイツ語を１年間学習した程度の初級文法の知識のある人に限ります。
11	人間と倫理	澤　田　哲　生	火・5	未定＊	10	A	
12	西洋の歴史と社会	入　江　幸　二	火・2	未定＊	若干名	A	
13	ドイツ語Ｂ（4）	ヴォルフガング ツォウベク	水・4	未定＊	3	B	
14	健康・スポーツ論	大　川　信　行	月・4	未定＊	5	A	
15	現代と教育	林　　衛 松　本　謙　一	火・2	未定＊	5	A	・グループ討論が多い授業なので、座学を求める方には不向きかもしれません。
16	健康・スポーツ論	福　島　洋　樹	月・4	未定＊	5	A	
17	健康・スポーツ論	福　島　洋　樹	月・2	未定＊	5	A	
18	健康・スポーツ論	堀　田　朋　基	木・3	未定＊	3	A	
19	こころの科学	村　上　宣　寛	火・5	未定＊	3	A	
20	地域の経済と社会・文化	山　根　　拓	火・5	未定＊	5	A	
21	こころの科学	佐　藤　　徳	木・5	未定＊	3	A	
22	現代と教育	若　山　育　代	木・5	未定＊	3	A	
23	言語と文化	宮　城　　信	火・1	未定＊	5	A	
24	西洋の歴史と社会	大　西　吉　之	月・2	未定＊	3	A	
25	はじめての経済学	本　間　哲　志	月・2	未定＊	10	A	
26	言語表現	坂　　幸　夫	火・3	未定＊	5	A	

学部等名：教養教育（五福）

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
27	経営資源のとらえ方	内田　康郎	火・2	未定＊	3	A	
28	日本国憲法	伊藤　嘉規	火・2	未定＊	5	A	
29	市民生活と法	福井　修	火・2	未定＊	10	A	
30	日本国憲法	栗田　佳泰	木・5	未定＊	5	A	
31	経済生活と法	中出　孝典 櫻井　利江	木・5	未定＊	3	A	
32	自然と情報の数理	菊池　万里	火・1	未定＊	3	A	
33	物理の世界	桑井　智彦	火・5	未定＊	5	A	
34	化学物質の世界	大澤　力	月・2	未定＊	若干名	A	
35	地球と環境	石崎　泰男	月・2	未定＊	5	A	
36	地球と環境	堀川　恵司	火・1	未定＊	5	A	
37	自然と情報の数理	上田　肇一	火・5	未定＊	2	A	
38	健康・スポーツ論	山崎　先也	木・1	未定＊	5	A	
39	健康・スポーツ論	山崎　先也	木・2	未定＊	5	A	
40	技術の世界	鈴木　正康 安藤　彰男	木・5	未定＊	5	A	
41	生活の科学	孫　珠熙 中嶋　芳雄	火・5	未定＊	5	A	
42	コンピュータの話	春木　孝之	木・5	未定＊	5	A	
43	言語表現	佐山　三千雄	金・2	未定＊	5	A	
44	材料の科学	佐伯　淳 草開　清志	火・5	未定＊	3	A	
45	現代社会論	橋本　勝	火・2	未定＊	4	A	
46	市民生活と法	木原　淳	火・5	未定＊	若干名	A	
47	化学物質の世界	會澤　宣一	月・6	未定＊	5	A	
48	産業と経済を学ぶ	酒井　富夫	水・7	未定＊	5	A	
49	材料の科学	笠場　孝一 柴柳　敏哉 田口　明	金・6	未定＊	5	A	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日･時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

○専門科目

学部等名：人文学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、地域連携チームより郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（地域連携チーム）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	哲学講読	永井龍男	木・1	人文３	3	A	
2	西洋古典語	永井龍男	月・5	人文601	3	B	
3	西洋思想史	永井龍男	火・4	人文１	5	B	
4	哲学特殊講義	永井龍男	月・3	人文３	5	C	
5	哲学講読	池田真治	水・1	人文601	3	A	
6	西洋思想史	池田真治	金・2	人文１	5	B	
7	人間学演習Ⅰ	松崎一平	水・2	人文601	制限なし	B	
8	宗教思想	松崎一平	木・2	人文４	制限なし	A	
9	人間学演習Ⅰ	田畑真美	木・4	人文７	3	C	
10	人間科学講読	湯川純幸	水・1	人文701	3	C	・言語使用（用件に応じたメッセージの組み立て）に関する理論的英文を読みます。
11	言語学特殊講義Ｅ	樋野幸男	火・1	人文２	5	B	
12	言語学講読	樋野幸男	木・1	人文701	5	B	
13	音声学Ⅱ	安藤智子	火・3	人文701	3	B	・音声学Ⅰ受講済みまたは国際音声記号習得済みであることを前提とします。
14	言語学概論Ⅰ	安藤智子	木・4	人文４	5	A	
15	心理学概論Ⅰ	喜田裕子 黒川光流 坪見博之	金・5	人文４	5	A	
16	心理学特殊講義	黒川光流	火・4	人文６	5	B	
17	日本史概説Ⅰ	鈴木景二	水・1	人文４	5	B	
18	日本史基礎演習	鈴木景二	月・5	人文１	3	A	
19	日本史特殊講義	熊谷隆之	木・3	人文１	5	B	
20	古文書学実習	熊谷隆之	金・5	人文２	5	B	
21	歴史文化特殊講義	澁谷由里	木・4	人文３	5	B	・初めて受講される方を優先します。
22	西洋史概説Ⅰ	入江幸二	金・5	人文１	5	B	
23	西洋史演習（2）	入江幸二	木・3	人文604	2	B	
24	西洋史講読	漆間真由美	火・3	人文７	3	B	
25	人文地理学概論	大西宏治	木・3	人文４	5	A	
26	国際関係論特殊講義	竹村卓	木・5	人文３	5	B	・レポートの提出または試験の受験を求めます。 ・国際関係論（政治学）と同時限開講。

学部等名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
27	国際関係論（政治学）	竹　村　　卓	木・5	人文３	5	B	・レポートの提出または試験の受験を求めます。 ・国際関係論特殊講義と同時限開講。
28	国際文化概論	吉　田　俊　則 鈴　木　信　昭 齊　藤　大　紀 青　木　恭　子	木・1	人文６	講義室に収容可能範囲内	B	
29	日本文化特殊講義	立　川　健　治	火・3	人文６	5	B	
30	日本文化演習	立　川　健　治	木・2	人文５	3	B	
31	外国語演習（中国語）	齊　藤　大　紀	月・3	人文 LL	5	B	
32	中国文化講読	齊　藤　大　紀	金・4	人文 502	5	B	
33	日本文学特殊講義	呉　羽　　長	水・2	人文６	3	C	
34	日本文学特殊講義 （万葉集）	坂本　信幸　他	木・2	人文３	10	B	
35	朝鮮学入門	鈴　木　信　昭 和　田　とも美 上　保　　敏	火・3	人文 211	5	A	
36	朝鮮言語文化講読	上　保　　敏	金・4	人文 211	3	C	
37	中国文学概論	大　野　圭　介	木・3	人文２	3	A	
38	中国言語文化講読	大　野　圭　介	金・3	人文 417	3	B	
39	英米言語文化演習Ⅱ	大工原　ちなみ	火・2	人文１	3	C	
40	英語学講読Ⅰ	奥　村　　譲	木・5	人文２	3	B	
41	英米言語文化演習Ⅱ	奥　村　　譲	木・3	共通 E43	3	C	
42	英米言語文化特殊講義	恒　川　正　巳	水・1	人文２	3	B	
43	英米言語文化演習Ⅱ	恒　川　正　巳	木・4	共通 E43	3	C	
44	英米言語文化演習Ⅱ	藤　川　勝　也	木・2	人文１	3	C	
45	ドイツ文学史	宮　内　伸　子	木・3	人文 LL	5	B	
46	ドイツ語コミュニケーション （会話）Ⅰ（1）	ヴォルフガング ツォウベク	火・2	人文 416	3	B	
47	ドイツ語コミュニケーション （会話）Ⅱ（1）	ヴォルフガング ツォウベク	火・3	人文 416	3	C	
48	ドイツ語コミュニケーション （作文）初級	ヴォルフガング ツォウベク	水・3	人文 416	2	B	
49	ドイツ語コミュニケーション （作文）中級	ヴォルフガング ツォウベク	水・2	人文 416	2	C	
50	ドイツ語コミュニケーション （会話）Ⅰ（2）	ヴォルフガング ツォウベク	金・2	人文 416	3	B	
51	ドイツ語コミュニケーション （会話）Ⅱ（2）	ヴォルフガング ツォウベク	金・3	人文 416	3	C	
52	ドイツ言語文化演習Ⅰ	ヴォルフガング ツォウベク	火・4	人文 416	2	B	
53	フランス言語文化特殊講義	村　井　文　夫	木・2	人文７	5	B	

学部等名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
54	ロシア言語文化講読Ⅰ	中　澤　敦　夫	木・2	人文316	5	B	
55	ロシア言語文化演習Ⅱ	中　澤　敦　夫	木・3	人文316	5	C	
56	ロシア語学概論	中　澤　敦　夫	月・4	人文316	5	B	
57	実践ロシア語演習Ⅰ	ｶｻﾞｹｰｳﾞｨﾁ ｳﾞｪﾁｪｽﾗﾌ	水・3	人文316	5	B	
58	実践ロシア語演習Ⅱ	ｶｻﾞｹｰｳﾞｨﾁ ｳﾞｪﾁｪｽﾗﾌ	水・2	人文316	5	C	
59	実践ロシア語演習Ⅲ	ｶｻﾞｹｰｳﾞｨﾁ ｳﾞｪﾁｪｽﾗﾌ	金・2	人文316	5	C	
60	ロシア文化論	ｶｻﾞｹｰｳﾞｨﾁ ｳﾞｪﾁｪｽﾗﾌ	金・4	人文316	5	C	
61	ロシア言語文化特殊講義	ｶｻﾞｹｰｳﾞｨﾁ ｳﾞｪﾁｪｽﾗﾌ	水・4	人文316	5	C	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日･時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：人間発達科学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、地域連携チームより郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（地域連携チーム）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	心理学研究法	村　上　宣　寛	火・4	人間 142	3	A	
2	認知心理学	小　川　　亮	金・5	人間端末室	3	B	・パソコン使用
3	学習心理学	村　上　宣　寛	木・3	人間 113	3	B	
4	心理学教育論	小　川　　亮	木・1	人間実践センター	3	B	・パソコン使用
5	発達臨床心理学	下　田　芳　幸	火・2	人間実践センター	3	B	
6	青年心理学	姜　　信　善	月・4	人間 112	5	B	
7	臨床心理学	石　津　憲一郎	月・2	人間実践センター	5	B	
8	学級集団心理学	佐　藤　　徳	金・1	人間 141	5	A	
9	教育史	廣　瀬　　信	木・5	人間 112	3	B	
10	学校文化論	増　田　美　奈	木・1	人間 113	3	A	
11	地域交流活動論	隅　　敦	木・1	人間 332	5	A	
12	幼児理解と相談支援	小　林　　真	金・5	人間 111	5	A	
13	保育内容総論	若　山　育　代	火・4	人間 111	3	B	
14	社会福祉概論Ⅰ	志　賀　文　哉	金・1	人間 331	10	A	
15	社会学	志　賀　文　哉	金・4	人間 331	10	A	
16	軽度発達障害児教育総論	水　内　豊　和	火・4	人間 114	3	B	
17	就労支援論	志　賀　文　哉	木・3	人間 116	10	A	
18	司法福祉論	小　林　　真	木・4	人間 114	3	B	
19	保育内容（表現）	若　山　育　代 千　田　恭　子	金・2	人間 111	3	B	
20	社会的養護	西　館　有　沙	火・4	人間 113	5	B	
21	社会的養護内容	阿　部　美穂子	木・1	人間 142	3	B	
22	保育者論	若　山　育　代	月・1	人間 111	3	C	
23	保育の心理学Ⅰ	小　林　　真	月・5	人間 113	3	A	
24	家庭支援論	西　館　有　沙	月・1	人間 113	3	B	
25	地域と健康	布　村　忠　弘	木・2	人間 311	10	B	
26	スポーツ心理学	福　島　洋　樹	金・2	人間 311	10	B	
27	スポーツ史	大　川　信　行	水・1	人間 331	3	B	
28	運動生理学	堀　田　朋　基	月・1	人間 331	5	B	
29	解剖学	布　村　忠　弘	火・4	人間 311	5	A	

学部等名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
30	学校と健康	布　村　忠　弘	木・4	人間 342	10	B	
31	スポーツ指導論	佐　伯　聡　史	金・2	人間 332	5	B	
32	スポーツ運動学	佐　伯　聡　史	火・3	人間 311	5	B	
33	スポーツ動作分析法	堀　田　朋　基	火・4	人間 342	5	B	
34	環境科学入門	片　岡　　弘 林　　衛	水・2	人間 341	5	A	
35	環境とエネルギー	成　行　泰　裕	月・1	人間 211	3	C	
36	化学物質の機能と環境	片　岡　　弘	火・2	人間各実験室	3	A	・教室については、別途お問い合わせください。
37	生活環境化学	片　岡　　弘	月・2	人間端末室	3	B	・パソコン使用
38	科学技術社会論	林　　衛	木・1	人間端末室	5	A	・パソコン使用
39	環境コミュニケーション論	林　　衛	金・2	人間各演習室	3	B	・パソコン使用 ・教室については、別途お問い合わせください。
40	地球表層変動学	椚　座　圭太郎	火・4	人間各実験室	5	A	・教室については、別途お問い合わせください。
41	ホームマネージメント	神　川　康　子	水・2	人間 211	3	B	
42	生活環境デザイン	神　川　康　子	木・3	人間 211	5	A	
43	カラーコーディネート論	秋　月　有　紀	火・4	人間 211	3	B	
44	生活工学	秋　月　有　紀	木・1	人間 211	3	B	
45	都市景観論	秋　月　有　紀	木・2	人間 211	3	B	
46	ヒトの動きの機能解剖学	鳥　海　清　司	火・1	人間 311	3	A	・パソコン使用
47	身体の形態と機能の測定	鳥　海　清　司	金・3	人間 332	3	C	
48	人間安全保障論	池　田　丈　佑	水・2	人間 221	3	B	
49	気候環境論	田　上　善　夫	月・1	人間 221	3	B	
50	地域企業論	根　岸　秀　行	木・3	人間 112	3	B	
51	基本プログラミング	竹　村　　哲	水・1	総合情報基盤センター 2F	3	A	・パソコン使用
52	数理システム概論	山　口　範　和	木・2	人間 331	3	A	
53	線形システム概論	大　森　克　史	木・4	人間 332	3	B	
54	情報幾何学	山　口　範　和	火・3	人間 331	3	B	
55	モデル化とシミュレーション	大　森　克　史	火・4	人間 332	3	B	
56	基本統計	山　口　範　和	火・2	人間 331	3	B	
57	教育工学概論	山　西　潤　一	金・2	人間 333	3	B	
58	情報教育概論	山　西　潤　一 黒　田　　卓	金・3	人間 333	3	B	

学部等名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
59	メディア芸術論	鼓　みどり	火・3	人間 342	3	A	
60	メディアコミュニケーション概論	鼓　みどり	木・2	総合情報基盤センター 2F	3	A	・パソコン使用

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日･時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：経済学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、地域連携チームより郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（地域連携チーム）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	ミクロ経済学Ⅱ	堂谷昌孝	月・1 木・3	未定＊	10	B	・13,300円
2	開発経済学	金　奉吉	月・2 木・2	未定＊	若干名	B	・13,300円 ・パソコン使用 ・ミクロ・マクロ経済学、国際経済学に対する基礎知識が必要。
3	地域経済論	小柳津英知	月・2 木・2	未定＊	3	B	・13,300円
4	貿易論	岸本壽生	月・2 木・2	未定＊	5	B	・13,300円
5	国際取引法	立石孝夫	月・2 木・2	未定＊	10	B	・13,300円
6	国際経済学	垣田直樹	月・3 金・2	未定＊	5	C	・13,300円
7	計量経済学	唐渡広志	月・3 金・2	未定＊	3	C	・13,300円 ・パソコン使用
8	憲法Ⅱ（統治機構）	宮井清暢	月・3 金・2	未定＊	10	B	・13,300円
9	景気循環論	星野富一	月・4	未定＊	3	B	・パソコン使用
10	民事執行法	岩本　学	月・5	未定＊	3	C	
11	マクロ経済学Ⅱ	新里泰孝	火・1 水・2	未定＊	5	B	・13,300円
12	ゲーム分析	平井俊行	火・1 水・2	未定＊	5	B	・13,300円 ・パソコン使用 ・moodle 使用
13	債権法Ⅱ（各論）	橋口賢一	火・1 水・2	未定＊	5	B	・13,300円
14	経済学入門	岩田真一郎	火・2	未定＊	5	A	・パソコン使用
15	経済学入門	中村和之	火・2	未定＊	5	A	・パソコン使用
16	金融論Ⅱ	山田潤司	火・3 金・1	未定＊	5	B	・13,300円 ・パソコン使用
17	刑事訴訟法	八百章嘉	火・3 金・1	未定＊	若干名	C	・13,300円
18	外国書講読Ⅱ	金　奉吉	火・3	未定＊	若干名	B	・パソコン使用
19	経営組織論	清家彰敏	火・4 木・1	未定＊	10	B	・13,300円 ・企業体験のある方が理解しやすい。
20	環境経済学	龍　世祥	水・1 金・3	未定＊	5	B	・13,300円
21	商法総則・商行為法	石田　眞	水・1 金・3	未定＊	5	B	・13,300円
22	経営学特殊講義　グローバル人材育成論	清家　彰敏　他	水・3	未定＊	制限なし	A	
23	情報経済論	小倉利丸	木・1	未定＊	5	B	
24	経済学特殊講義　地域経済統合論	王　大鵬	木・4	未定＊	3	B	
25	証券市場論	本間哲志	金・3	未定＊	10	B	
26	地域社会学Ⅰ	高山龍太郎	金・4	未定＊	5	B	
27	経営学と経済学で出る数学	白石俊輔	木・1	未定＊	3	A	
28	経済学特殊講義　東日本大震災に学ぶ	新里　泰孝　他	火・4	未定＊	5	B	

学部等名：経済学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
29	経営学入門	清　家　彰　敏	火・6 火・7	未定＊	10	A	・13,300円
30	マクロ経済学Ⅰ	大　坂　　洋	火・6 火・7	未定＊	10	A	・13,300円
31	オペレーションズ・リサーチ	横　山　一　憲	火・6 火・7	未定＊	5	B	・13,300円
32	商法	高　田　　寛	火・6 火・7	未定＊	10	C	・13,300円
33	労働経済論	坂　　幸　夫	水・6 水・7	未定＊	5	C	・13,300円
34	法学入門	伊　藤　嘉　規 森　嶋　秀　紀	木・6 木・7	未定＊	5	A	・13,300円
35	公共経済学	中　村　和　之	木・6 木・7	未定＊	5	B	・13,300円 ・パソコン使用
36	環境法	神　山　智　美	木・6 木・7	未定＊	5	B	・13,300円
37	西洋経済史	大　西　吉　之	金・6 金・7	未定＊	3	B	・13,300円
38	経営戦略論	内　田　康　郎	金・6 金・7	未定＊	5	C	・13,300円

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日･時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：理学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、地域連携チームより郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（地域連携チーム）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	応用数理特論	数学科	出口英生	水・2	理A239	若干名	C	(注1)
2	微分積分学B	数学科	池田榮雄	金・4	理A239	若干名	C	(注1)
3	解析学Ⅱ	数学科	藤田安啓	火・4	理A238	若干名	C	(注1)
4	線形代数学B	数学科	浅沼照雄	火・1	理A336	若干名	C	(注1)
5	線形代数学Ⅱ	数学科	川部達哉	金・3	理A238	若干名	C	(注1)
6	解析学Ⅴ	数学科	久保文夫	火・5	理A239	若干名	C	(注1)
7	代数学Ⅰ	数学科	木村巌	火・2	理A239	若干名	C	(注1)
8	位相空間論Ⅰ	数学科	古田高士	木・4	理A337	若干名	C	(注1)
9	複素解析学Ⅰ	数学科	藤田景子	月・3	理A239	若干名	C	(注1)
10	実解析学Ⅰ	数学科	藤田安啓	木・3	理A337	若干名	C	(注1)
11	プログラミングⅡ	数学科	幸山直人	水・4	センター2F 端末室	若干名	C	(注1)
12	微分方程式論Ⅰ	数学科	池田榮雄	月・4	理A239	若干名	C	(注1)
13	幾何学Ⅱ	数学科	永井節夫	火・4	理A336	若干名	C	(注1)
14	数値解析学	数学科	上田肇一	金・4	理C105	若干名	C	(注1)
15	関数解析学	数学科	濱名正道	金・2	理A239	若干名	C	(注1)
16	応用数理特論A	数学科	出口英生	水・2	理A239	若干名	C	(注1)
17	物理学序説Ⅱ	物理学科	桑井智彦	木・4	未定＊	5	A	・パソコン使用
18	物理学概論Ⅱ	物理学科	石川義和	木・4	未定＊	3名程度	A	・パソコン使用
19	力学序論	物理学科	石川義和	火・1	理A239	若干名	A	
20	物理数学A	物理学科	栗本猛	金・4	理A238	5	C	
21	力学Ⅱ	物理学科	兼村晋哉	金・3	理A337	5	B	・パソコン使用
22	電磁気学Ⅰ	物理学科	森脇喜紀	火・2 金・2	理A238	5	A	・13,300円 ・パソコン使用
23	熱力学	物理学科	田山孝	火・4	理A337	若干名	B	・パソコン使用
24	統計力学	物理学科	飯田敏	月・1 火・3	理A239	5	C	・13,300円 ・パソコン使用 ・熱力学の内容、力学、電磁気学、量子力学の初歩的内容を修得していること。
25	量子力学Ⅱ	物理学科	兼村晋哉	月・2	理A239	若干名	C	・パソコン使用
26	物性物理学A	物理学科	池本弘之	火・2	理C104	若干名	B	・パソコン使用
27	核・素粒子物理学A	物理学科	兼村晋哉	金・2	理A336	5	C	・パソコン使用
28	電磁波物理学	物理学科	小林かおり	水・2	理A424	5名程度	B	・量子力学あるいは量子化学の初歩を習得していること。

学部等名：理学部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　　考
29	化学概論Ⅱ	化学科	宮　澤　眞　宏	木・3	理A424	5名程度	A	・パソコン使用
30	化学概論Ⅱ	化学科	林　　直　人	木・3	未定＊	5名程度	A	
31	放射線基礎学	化学科	鳥　養　祐　二	火・1	未定＊	若干名	A	
32	化学熱力学Ⅰ	化学科	岩　村　宗　高	金・4	理C104	5名程度	A	
33	量子化学Ⅰ	化学科	野　崎　浩　一	火・1	理A238	5名程度	B	
34	有機化学Ⅰ	化学科	樋　口　弘　行	月・5	理A424	5名程度	A	
35	化学反応学	化学科	大　澤　　力	水・1	理A238	若干名	B	
36	無機化学Ⅰ	化学科	柘　植　清　志	月・2	理A337	5名程度	A	
37	構造有機化学	化学科	林　　直　人	月・1	理A337	5名程度	B	
38	反応有機化学	化学科	横　山　　初	水・2	理A238	5名程度	B	
39	生化学	化学科	井　川　善　也	金・2	理A424	10名程度	B	・パソコン使用 ・有機化学の基礎知識に加え、生物学科「基礎生化学」を受講済み、程度の知識をもつことが望ましい。
40	化学平衡学	化学科	松　山　政　夫	火・1	理C203	若干名	B	・化学熱力学を受講済みであること。
41	溶液化学	化学科	鈴　木　　炎	金・2	理C204	若干名	C	
42	材料科学	化学科	波多野　雄　治	火・2	理C203	10名程度	B	
43	合成有機化学	化学科	宮　澤　眞　宏	木・2	理C104	5名程度	B	
44	基礎細胞遺伝学	生物学科	岩　坪　美　兼	金・4	理C203	5	B	
45	動物生理学	生物学科	菊　川　　茂	木・2	理A239	若干名	B	
46	植物生理学	生物学科	唐　原　一　郎	水・2	理C105	5	B	
47	発生制御学	生物学科	若　杉　達　也	火・2	理C105	5	C	
48	分子遺伝学	生物学科	山　田　恭　司	木・1	理C105	5	B	
49	一般地質学	地球科学科	大　藤　　茂	火・1	理A424	若干名	A	・パソコン使用。ただし、インターネットでファイルのダウンロードができれば，学内IDは不要。
50	地球内部物理学	地球科学科	渡　邊　　了	火・2	理A337	若干名	B	
51	地球電磁気学概論	地球科学科	酒　井　英　男	木・3	理A238	若干名	C	
52	岩石学	地球科学科	石　崎　泰　男	水・2	理A336	若干名	B	
53	雲物理学	地球科学科	青　木　一　真	火・2	理A336	若干名	C	
54	環境基礎生物学A	生物圏環境科学科	中　村　省　吾	金・3	理C104	若干名	B	
55	環境基礎化学	生物圏環境科学科	波　多　宣　子	月・5	理C104	若干名	A	
56	生態学	生物圏環境科学科	石　井　　博	木・1	理A239	若干名	B	

学部等名：理学部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　　考
57	植物生態学	生物圏環境科学科	和　田　直　也	月・3	理A336	若干名	B	
58	環境化学計測	生物圏環境科学科	倉　光　英　樹	火・2	理A424	若干名	B	
59	生理化学	生物圏環境科学科	蒲　池　浩　之	水・2	理A337	若干名	B	
60	保全生物学	生物圏環境科学科	横　畑　泰　志	水・1	理A337	若干名	B	
61	環境地球化学	生物圏環境科学科	上　田　　晃	火・1	理C104	若干名	B	

（注１）当該授業科目履修のためには、開講時以前の全必修科目を修得しているのと同程度の学力を有することが必要です。履修を決める前に、必ず当該授業科目担当教員とよく相談してください。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日･時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：工 学 部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、地域連携チームより郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（地域連携チーム）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	電子物性工学３	電気電子システム工学科	山　崎　登志成	月・1	工207	5	B	
2	量子力学	電気電子システム工学科	小　野　行　徳	月・2	工210	5	B	
3	電気回路１	電気電子システム工学科	飴　井　賢　治	月・3	工210	5	A	
4	ディジタル電子回路	電気電子システム工学科	戸　田　英　樹	水・1	工108	5	B	
5	アナログ電子回路２	電気電子システム工学科	中　島　一　樹	火・2	工205	5	B	
6	集積回路工学	電気電子システム工学科	岡　田　裕　之	火・2	工210	若干名	B	
7	電子物性工学１	電気電子システム工学科	丹　保　豊　和	火・3	工206	若干名	B	
8	熱・波動	電気電子システム工学科	小　野　行　徳	火・4	未定＊	5	A	
9	半導体デバイス１	電気電子システム工学科	前　澤　宏　一	火・4	工205	若干名	B	
10	電力応用工学	電気電子システム工学科	作　井　正　昭	金・2	工205	5	B	
11	電気エネルギー工学２	電気電子システム工学科	伊　藤　弘　昭	月・2	工103	若干名	B	
12	電気数学３	電気電子システム工学科	堀　　匡　寛	水・2	工106	5	B	
13	信号処理工学	電気電子システム工学科	荏　戸　立　夫	木・1	工207	5	C	
14	電磁気学１	電気電子システム工学科	中　　茂　樹	金・1	工105	5	B	
15	電磁波工学２	電気電子システム工学科	安　藤　彰　男	水・1	工205	5	B	
16	電気機器工学１	電気電子システム工学科	大　路　貴　久	金・3	工210	5	B	
17	システム制御工学２	電気電子システム工学科	チャピ　ゲンツィ	金・3	工103	若干名	C	
18	計算機工学	電気電子システム工学科	鈴　木　正　康	金・4	未定＊	5	A	
19	電磁気学１	電気電子システム工学科	森　　雅　之	金・1	工210	5	B	
20	送配電工学２	電気電子システム工学科	田　中　和　幸	水・2	工205	5	C	
21	デジタル信号処理	知能情報工学科	廣　林　茂　樹	月・2	工108	10	B	
22	知的システム	知能情報工学科	堀　田　裕　弘	月・3	工108	5	B	
23	ブレインコンピューティング	知能情報工学科	田　端　俊　英	金・1	工108	若干名	B	
24	数値解析	知能情報工学科	春　木　孝　之	月・4	工207	5	B	
25	組込みシステム	知能情報工学科	廣　林　茂　樹	月・4	工108	10	C	
26	離散数学	知能情報工学科	菊　島　浩　二	火・4	工106	5	A	
27	プログラミング言語論	知能情報工学科	村　山　立　人	火・1	工108	5	B	
28	電子回路工学	知能情報工学科	田　端　俊　英	火・2	工106	若干名	B	
29	情報セキュリティ	知能情報工学科	田　島　正　登	火・2	工108	5	C	
30	マルチメディア工学	知能情報工学科	唐　　政	月・5	工106	10	C	
31	微分積分Ⅱ	知能情報工学科	角　畠　　浩	水・2	未定＊	10	A	

学部等名：工 学 部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
32	計算論	知能情報工学科	西田泰伸	水・3	工210	5	C	
33	プログラミングⅡ	知能情報工学科	酒井　充	木・4	未定＊	若干名	B	・プログラミングⅠ相当の知識が必要となります。
34	通信システム	知能情報工学科	菊島浩二	木・4	工210	5	B	
35	確率論	知能情報工学科	田島正登	金・1	工206	若干名	A	
36	材料力学第２	機械知能システム工学科	木田勝之	金・3	工205	5	B	
37	自動車工学	機械知能システム工学科	手崎　衆 川口清司 小熊規泰 高須賀祥隆 金子　誠	月・3	工103	若干名	B	
38	基礎材料工学	機械知能システム工学科	高辻則夫	火・1	工103	5	B	
39	複素解析学	機械知能システム工学科	松島紀佐	火・1	工210	10	B	
40	流体力学	機械知能システム工学科	川口清司	火・1	工206	5	B	
41	要素設計学第２	機械知能システム工学科	小熊規泰	火・2	工207	若干名	C	
42	環境工学概論	機械知能システム工学科	平澤良男	水・1	工103	5	B	
43	化学	機械知能システム工学科	手崎　衆	水・2	未定＊	若干名	A	
44	数値解析	機械知能システム工学科	瀬田　剛	水・2	工103	5	B	
45	計測工学・精密測定学演習	機械知能システム工学科	三原　毅 田代発造	木・1	工108	5	B	
46	基礎熱力学	機械知能システム工学科	手崎　衆	木・3	工210	若干名	B	
47	力学第２	機械知能システム工学科	関本昌紘	木・4	未定＊	5	A	
48	強度設計工学	機械知能システム工学科	笠場孝一	木・4	工103	5	B	・パソコン使用
49	シミュレーション工学	機械知能システム工学科	タチアナ　ニコラエヴナ ゾロツキヒナ	金・3	情報基盤センター4階・第4端末室	若干名	B	・パソコン使用
50	ロボット工学	機械知能システム工学科	関本昌紘	金・4	工206	5	B	
51	基礎情報工学	機械知能システム工学科	タチアナ　ニコラエヴナ ゾロツキヒナ	月・1	工205	若干名	A	
52	基礎生理学	生命工学科	黒澤信幸	火・3	工108	若干名	B	
53	化学生物分離工学	生命工学科	川崎博幸	水・2	工202	3	C	
54	健康・福祉工学	生命工学科	中村真人	月・4	工105	10	B	
55	細胞代謝学Ⅱ	生命工学科	佐山三千雄	火・1	工204	10	B	
56	データ解析概論	生命工学科	黒岡武俊	火・2	工学部端末室	若干名	B	・パソコン使用
57	環境衛生工学	生命工学科	山本辰美	火・2	工202	若干名	B	
58	化学生物物質移動論	生命工学科	川崎博幸	水・3	工206	3	B	
59	生物化学工学Ⅱ	生命工学科	森　英利	火・4	工107	5	A	
60	細胞生物学	生命工学科	篠原寛明	水・1	工208	若干名	B	

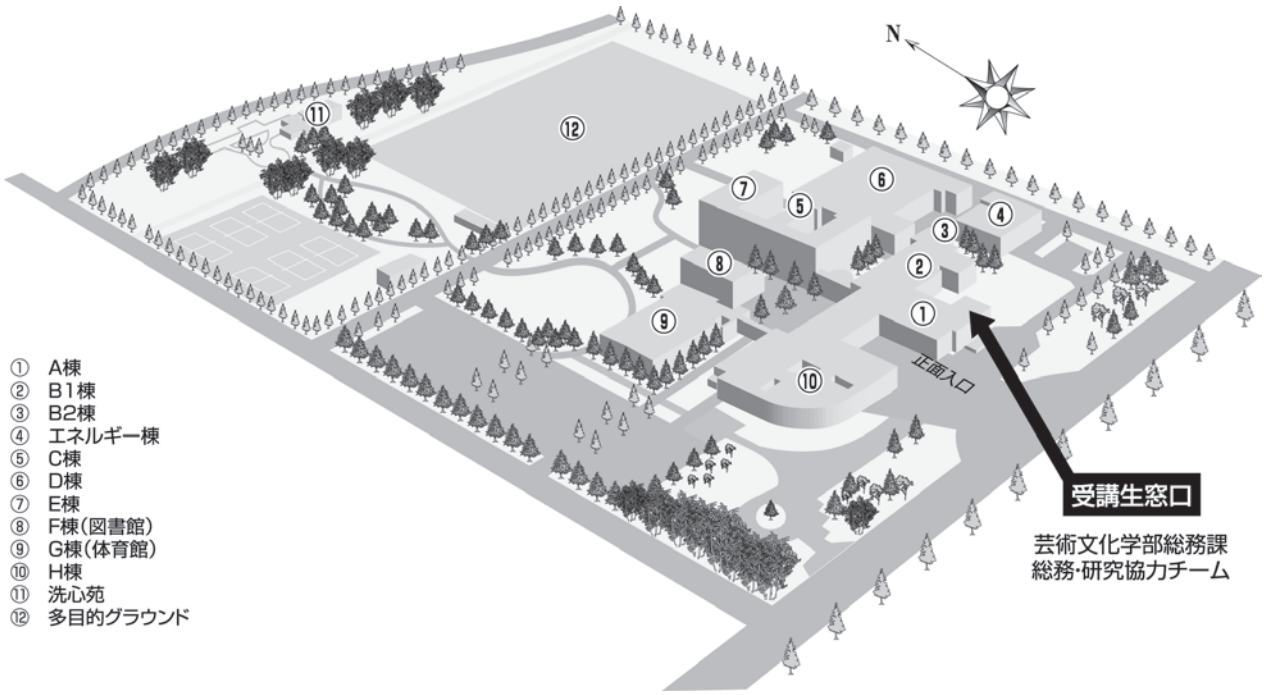
学部等名：工 学 部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
61	システム工学	生命工学科	黒　岡　武　俊	月・2	工学部 端末室	10	B	
62	生化学Ⅱ	生命工学科	佐　山　三千雄	木・1	工 209	10	B	
63	遺伝子工学Ⅰ	生命工学科	髙　﨑　一　朗	木・2	工 206	5	B	
64	英語コミュニケーション	生命工学科	キタノ　アスカ	木・3	工 202	若干名	B	
65	英語コミュニケーション	生命工学科	キタノ　アスカ	木・4	工 202	若干名	B	
66	生物反応工学	生命工学科	星　野　一　宏	金・2	工 202	5	B	
67	物理化学Ⅰ	生命工学科	森　　英　利	金・4	工 210	5	B	
68	無機化学Ⅰ	生命工学科	篠　原　寛　明	火・1	未定 *	若干名	A	
69	生体計測工学	生命工学科	川　原　茂　敬	火・1	工 207	5	B	
70	高分子物性化学	環境応用化学科	伊　藤　研　策	月・2	工 207	10	C	
71	分子固体物性工学	環境応用化学科	宮　崎　　章	金・1	工 204	10	C	・パソコン使用
72	基礎化学工学	環境応用化学科	劉　　貴　慶	火・3	工 105	5	B	
73	分子構造解析演習	環境応用化学科	遠　田　浩　司	火・2	工 206	5	C	
74	高分子合成化学	環境応用化学科	北　野　博　巳	火・4	工 207	5	B	
75	工学特論（有機分子工学）	環境応用化学科	堀　野　良　和	水・1	工 206	若干名	B	
76	界面材料工学	環境応用化学科	伊　藤　研　策	水・2	工 204	10	C	
77	有機合成化学	環境応用化学科	阿　部　　仁	水・1	工 203	若干名	B	
78	機器分析	環境応用化学科	遠　田　浩　司	木・2	工 207	5	C	
79	反応工学	環境応用化学科	椿　　範　立	木・3	工 105	若干名	B	
80	量子分子工学	環境応用化学科	石　山　達　也	金・2	工 102	若干名	B	
81	分析化学	環境応用化学科	加賀谷　重　浩	金・4	工 207	5	A	
82	無機材料化学	環境応用化学科	會　澤　宣　一	月・5	工 105	5	C	
83	有機材料工学	環境応用化学科	米　山　嘉　治	金・3	工 202	5	B	
84	粉体工学	材料機能工学科	高　瀬　　均	木・2	工 209	5	B	
85	相変態序説Ⅰ	材料機能工学科	松　田　健　二	月・2	工 205	若干名	B	
86	結晶構造解析学	材料機能工学科	佐　伯　　淳	木・4	工 201	3	B	
87	材料機能工学演習Ⅲ	材料機能工学科	柴　柳　敏　哉 高　瀬　　均 吉　田　正　道 山　根　岳　志	火・1 火・2	工 208	5	B	・毎週行われる授業ではない。授業日程については、授業中の指示および掲示を確認すること。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（地域連携チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日･時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

高岡キャンパス



<高岡キャンパス受講生窓口>

富山大学　芸術文化学部総務課　総務・研究協力チーム

〒 933-8588　富山県高岡市二上町 180

TEL　0766－25－9138　FAX　0766－25－9212

通常は月曜日から金曜日の 8：30 から 17：15 まで受付けています。（祝日を除く）

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P30 ～ P31 参照）に記載のとおりです。オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の三段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度のめやす

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。

（開講期間）

3　**開講期間は、平成 26 年 10 月２日（木）～平成 27 年２月３日（火）**です。

（一部、開講期間が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

授業日程については、あらかじめ決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の「平成 26 年度後学期授業日程」でご確認ください。

（試聴授業）

4　「オープン・クラス授業科目一覧」に記載する試聴日の授業は、試聴授業として扱います。

（修了証書）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。

なお、全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により修了証書を発行いたします。発行を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

（県民カレッジの単位認定）

6　オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（１時間を１単位とし、５単位刻みで認定）、県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」を **９月５日（金）から９月24日（水）まで** に下記高岡キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

富山大学　芸術文化学部総務課　総務・研究協力チーム
〒933-8588　富山県高岡市二上町180
TEL 0766−25−9138　FAX 0766−25−9212
通常は月曜日から金曜日の８：30から17:15まで受付けています。
（祝日を除く）

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「試聴証」をお渡しします。この試聴証は、試聴時にお付けいただきますので、紛失されないようにご注意願います。

（受講の試聴日）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。
なお、試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。
また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、高岡キャンパス受講生窓口にご提出ください。**
高岡キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認のうえ、受講登録を行います。
受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届
・受講料
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、高岡キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,300 円（税込）

（**一部、受講料が異なる科目があります。**その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他の費用（材料費等）は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、キャンパス内では必ず着用願います。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は学務チーム掲示板（A棟１階　学務チーム入り口前）で行います。受講開始後でも、教室等について変更する可能性があります。ご注意ください。

また、携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承くだい。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意願います。加入手続きは、高岡キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

8　キャンパスには、駐車場がありますが、事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

1　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください。）

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。授業開始前には、毎回学務チームの掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供、及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

学部等名：芸術文化学部

番号	授業科目名	担当教員 氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	試聴日	備考
1	構造力学１	大氏正嗣	月・1	B-117	5	B	10/6,20	
2	西洋演劇史	深谷公宣	月・2	B-212	2	A	10/6,20	
3	イングリッシュ・コミュニケーション中級２	B. ウィルソン	月・3	B-210	若干名	B	10/6,20	・英語による授業です。
4	中国語読解Ⅱ	山田眞一	月・3	H-291	若干名	B	10/6,20	・パソコン使用 ・ピンインが正しく発音できること。
5	構造計画	大氏正嗣	火・1	B-117	5	A	10/7,14	・模型材料等の購入が必要です。
6	造形材料（金属材料１）	長柄毅一	火・1	E-456	若干名	B	10/7,14	・造形金属材料基礎を受講していることが望ましい。
7	インテリア家具構法	丸谷芳正	火・3	B-117	若干名	A	10/7,14	
8	造形材料（金属材料２）	野瀬正照	火・3	E-456	若干名	C	10/7,14	・造形材料（表面処理）および造形材料（金属材料１）の講義を受講しているか、またはそれに相当する知識を有していることが望ましい。
9	木質材料入門	堀江秀夫	水・1	B-117	5	A	10/8,15	
10	色彩基礎演習	武山良三	水・1	B-213	若干名	A	10/8,15	・イラストレータ、フォトショップ、パワーポイントが使えること。
11	建築とリサイクル	堀江秀夫	水・2	B-116	5	A	10/8,15	
12	文化マネジメント論Ａ	松田愛	水・2	C-437	5	B	10/8,15	・文化マネジメント概論を受講しているか、概論に相当する知識を有していることが望ましい。
13	インフォーメーションデザイン演習	武山良三	水・2	C-222	若干名	B	10/8,15	・パソコン使用 ・イラストレータ、フォトショップ、パワーポイントが使えること。
14	西洋美術史Ａ	松田愛	木・1	B-212	5	A	10/2,9	・授業内または課題として美術館見学を実施予定です。
15	展示・プレゼンテーション英語	B. ウィルソン	木・2	B-211	若干名	B	10/2,9	・英語による授業です。
16	金属工芸技術史概論	三船温尚	木・3	C-437	10	A	10/2,9	
17	工芸・デザイン材料	堀江秀夫 長柄毅一 村田聡	金・1	B-117	5	A	10/3,10	
18	デザインの世界	前田一樹	金・1	B-212	若干名	A	10/3,10	
19	造形のための工学	辻合秀一	金・1	H-291	若干名	A	10/3,10	
20	英米文学入門	深谷公宣	金・2	B-116	2	A	10/3,10	・英和または英英辞書が必要です。（電子も可）
21	異文化理解文献研究（中国語）	山田眞一	金・4	B-210	若干名	C	10/3,10	・ピンインが正しく発音でき、辞書を引きこなせること。
22	彫刻実習（塑造）Ⅱ	平田昌輝	火・1 火・2	B-112	若干名	C	10/7,14	・13,300 円 ・傷害保険の加入が別途必要です。 ・塑造制作の豊富な経験・知識を有していることが望ましい。 ・学生受講者数等を勘案して受入を判断する。 ・作業服・材料費が別途必要です。
23	抽象立体表現	中村滝雄	11/25 ~ 2/3 火・4 火・5	B-113	若干名	A	11/25,12/2	・損害保険の加入が別途必要です。 ・学生受講者を勘案して判断する。 ・材料費が別途必要になり、カッターナイフ、定規、木工用ボンドなどの道具が必要です。

学部等名：芸術文化学部

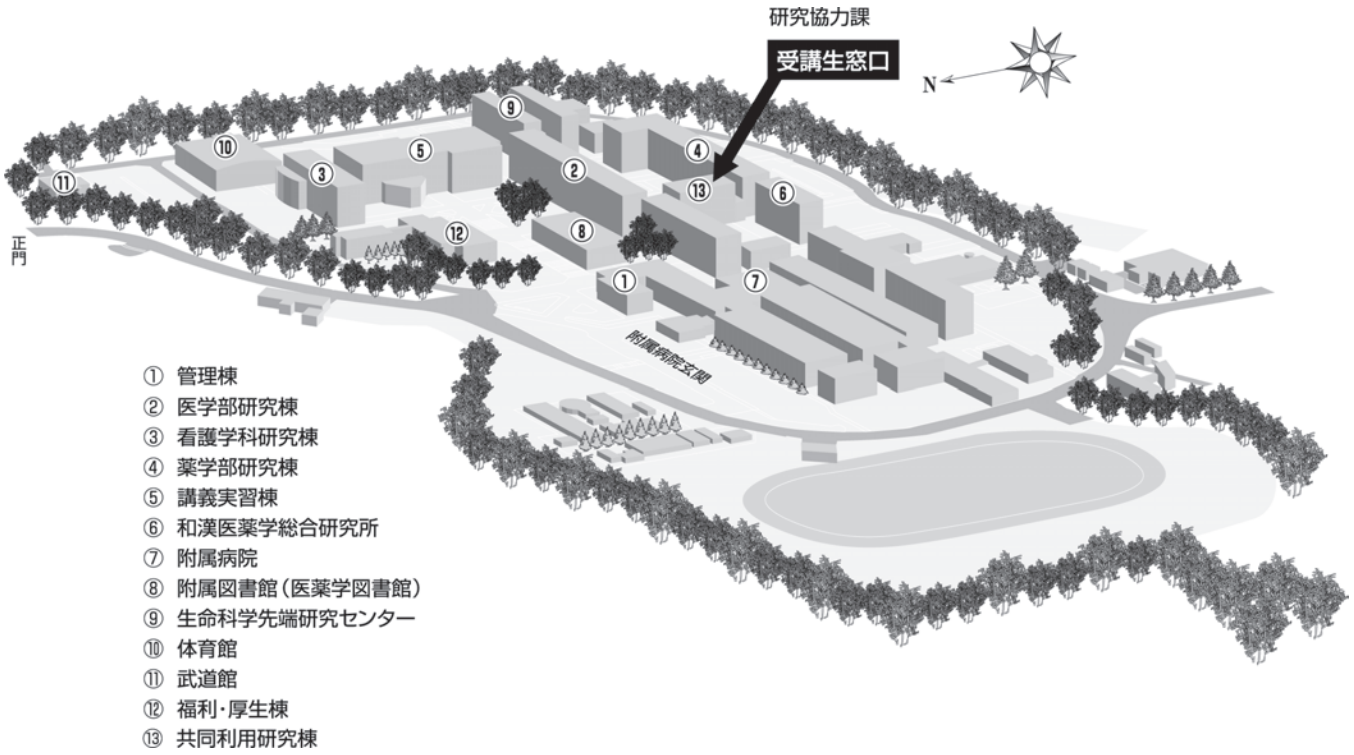
番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	試聴日	備　考
24	サインデザイン演習	武　山　良　三	12/4～1/29 木・1 木・2	C-222	若干名	B	12/4,11	・パソコン使用 ・イラストレータ、フォトショップ、パワーポイントが使えること。

※教室の収容人数の都合及びパソコン等機器の不足により受講できない場合があります。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（総務・研究協力チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日･時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

杉谷キャンパス



<杉谷キャンパス受講生窓口>
富山大学　研究協力課
〒 930-0194　富山市杉谷 2630
TEL　076－434－7144　FAX　076－434－4656
通常は月曜日から金曜日の 8：30 から 17：15 まで受付けています。（祝日を除く）

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P38 参照）に記載のとおりです。

オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の三段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度のめやす

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～４年次生対象の授業）

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。

（開講期間）

3　**開講期間は、平成 26 年 10 月２日（木）～平成 27 年２月２日（月）**です。

（一部、開講期間が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。）

授業日程については、あらかじめ決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の平成 26 年度後学期授業日程でご確認ください。

（試聴授業）

4　「オープン・クラス授業科目一覧」に記載する試聴日の授業は、試聴授業として扱います。

（修了証書）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。

なお、全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により修了証書を発行いたします。発行を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

（県民カレッジの単位認定）

6　オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（１時間を１単位とし、５単位刻みで認定）、県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」を **９月５日（金）から９月24日（水）まで** に下記杉谷キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

富山大学　研究協力課
〒930-0194　富山市杉谷2630
TEL　076－434－7144　FAX　076－434－4656
通常は月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受付けています。
（祝日を除く）

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試聴時に付けていただきますので、紛失されないようご注意願います。

（受講の試聴日）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。

なお、試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、杉谷キャンパス受講生窓口にご提出ください。**

杉谷キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届
・受講料
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、杉谷キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,300 円（税込）

（**一部、受講料が異なる科目があります。**その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いします。複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は１部のみの発行となります。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は教員の指示や学部等掲示板で行います。受講開始後でも、教室について変更する可能性があります。ご注意ください。

また、携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意願います。加入手続きは、杉谷キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

9　キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共の交通機関等をご利用ください。なお杉谷キャンパスの駐車場は有料となっております。

　自家用車でのトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

1　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください。）

「オープン・クラス」に関する授業内容等については、下記においてもお問い合わせできます。

医薬系学務課　学部教務チーム　　TEL ０７６－４３４－７１３１

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。授業開始前には、毎回各学部の掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供、及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

○教養教育

学部等名：教養教育（杉谷）

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日・時限	教　室	募集定員	難易度	試聴日	備　考
1	医療と法	木　原　　淳	金・1	看護棟 10 講義室	若干名	A～B		
2	数理科学	笹　野　一　洋	月・1	401	若干名	A	10/6	
3	線型代数学	笹　野　一　洋	火・2	302	若干名	A	10/7	
4	自然現象のモデル化とその解析	笹　野　一　洋	金・2	看護棟 11 講義室	若干名	B	10/3	

○専門科目

学部等名：医学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日・時限	教　室	募集定員	難易度	試聴日	備　考
1	成長と発達	足　立　雄　一 市　田　蕗　子	9/22　3・4限 9/30　3・4限 10/3　3・4限 10/7　3・4限 10/10　1限 10/14　3・4限 10/17　1限 10/21　3・4限 10/23　1・2限 10/31　1限	臨床講義室Ⅰ	若干名	B		・10,300 円 ・グループワーク等も含みますので、講義への参加日程や試聴日等の詳細について事前にご相談ください。
2	神経系	黒　田　　敏	9/16　2限	臨床講義室Ⅰ	若干名	B		・5,300 円 ・講義への参加について事前にご連絡ください。
3	対人保健学	関　根　道　和	9/19　1・2限 9/26　1・2限 10/3　1・2限 10/17　1・2限 10/23　3・4限 10/31　1・2限	臨床講義室Ⅰ	若干名	C	9/19,26	・8,300 円 ・講義への参加日程や試聴日等の詳細について事前にご相談ください。
4	老年看護論	竹内　登美子　他	水・2	看護棟 22 講義室	若干名	A～B	10/22,29	・講義への参加日程や試聴日等の詳細について事前にご相談ください。

※教室について耐震改修等の関係で変更する場合があります。
※授業曜日･時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

平成　　年　　月　　日

平成 26 年度後学期
富山大学　オープン・クラス（公開授業）
受講希望調書

住　　所	〒		
フリガナ 氏　　名		性　別	男・女
電　　話 （携帯電話）			
年　　齢			
生涯学習メールマガジンの配信を希望される方は、e-mail アドレスをご記入ください。 e-mail			

富山大学オープン・クラス（公開授業）として、下記授業科目の受講を希望します。

記

学 部 名 等		
授 業 科 目	番　号 （　　）	
担 当 教 員		
授業曜日・時限	曜日　　限	

※　本調書は、1 授業科目ごとに 1 枚とし、**９月５日（金）から９月 24 日（水）まで** に各キャンパス受講生窓口に提出してください。郵送あるいは FAX も受付けます。複数の授業科目の受講を希望される方は、本用紙を複写して使用願います。
　なお、募集定員を超えた場合には、受講できない場合があります。

※「オープン･クラス」の受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。

※　ご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供、及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

（切り取り線）

オープン・クラス受講生の方へ

携帯電話・パソコンで授業の掲示情報が確認できます。

授業の休講・補講の情報や、緊急情報を携帯電話やパソコンから確認することができます。

掲示情報（携帯・パソコン共通）のＵＲＬは、下記のとおりです。

http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/keitai_info/

ＱＲコードに対応する携帯電話をお持ちの方は、
左のＱＲコードからアクセスできます。

＜留意事項＞

＊本サイトの情報はあくまでも補足的なものです。必ず、学内掲示板をご確認願います。なお、学内掲示板と掲載内容が異なる場合は、学内掲示板の内容が優先します。

＊掲示の内容は 10 分毎に最新の掲示情報に更新されます。

＊台風や地震などによる全学一斉の休講通知のような、速報性の高い情報は緊急情報から確認できます。

五福キャンパス

富山市五福3190

（人文学部、人間発達科学部、経済学部、理学部、工学部）



高岡キャンパス

高岡市二上町180

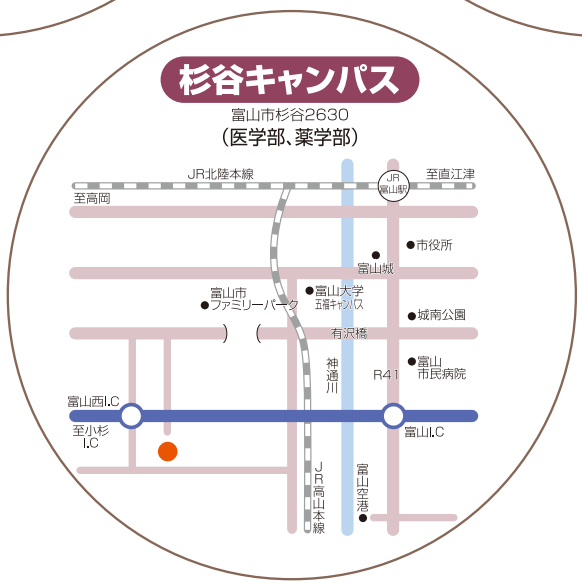
（芸術文化学部）



杉谷キャンパス

富山市杉谷2630

（医学部、薬学部）



富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門

〒930-8555　富山市五福3190番地　TEL076-445-6956　FAX076-445-6033

ホームページアドレス　http://www.life.u-toyama.ac.jp/

Eメール：lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp

リサイクル適性Ⓐ

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。